

選挙の常識をぶっ壊す

選挙期間中に競っていた相手は他候補ですが、私が心の中で本当に闘っていた相手は現状の選挙運動の在り方でした。投票率が低い理由、選挙に無関心な人が多い理由の一つが、現在の日本型選挙にあると考えたからです。

後援会組織を作らない

多くの立候補予定者が選挙前になると、後援会の入会申込書をもって、様々なたつてを頼り市内の家庭を訪問します。頼まれれば誰でも名前を書くよという人もいれば、私は支持している人がいるから書けないという人もいます。時にはこれがきっかけで人間関係をおかしくしてしまう事もあると聞きます。このような選挙直前の勧誘に意味があるのでしようか。もし自分の考え方を知ってもらい支持者を増やしたいなら選挙とは関係なく普段から行すべきだと私は考えます。

私には後援会組織がありません。特定の支持者を意識せずに、自由に発言したいからです。言い換えれば、すべての市民に対し公平な立場で発言できる議員でありたいと考えています。『選挙前なのに挨拶周りをしなくて大丈夫なのか』と心配されたこともありましたが、私はその分のエネルギーをもっと他の意味あることに充てたいと考えています。

ウグイス嬢を使わない

今回の選挙では、選挙カーでウグイス嬢を使わずに最初から最後まで私がウグイスおじさんとしてしゃべり続けました。時には『ねぎうサンバ』や『うしうしサンバ』を歌い『地元の農産物のPRを行い、状況に応じボリュームを調整しながら、どうせ喋るなら楽しくをモットーに市内をまわりました。時には細い路地まで侵入し、ご迷惑をお

お金をかけない選挙

議会の活性化には若者の政治参加が必要不可欠です。政治に関心を持ち、やる気のある若者に立候補を促すには、お金を掛けなくても知恵しぼり汗を流せば当選できることを証明するのが早道だと考えました。

選挙費用収支報告

自己負担0の項目

- 選挙事務所はK氏が住んでいるアパートの一室（6畳）を10日間借用。
- 選挙費用収支報告書には費用15000円を無償提供として計上しています。
- 選挙カーに搭載した看板とスピーカーは前回選挙で用意したものを使用。
- スピーカーは69800円で購入。
- 看板は自分で制作（材料費・印刷代53268円）
- たすきは前々回の選挙で作成したものを使用。
- 道路の塀に張った選挙事務所看板は前回選挙で作成したものを使用。
- 事務用品は前回選挙で購入したものを使用。
- 茶菓子、お茶、コーヒーは陣中見舞いでいただいたものを使用。
- 自己負担合計額29794円
- ポスターの写真撮影費用7560円



かけたこともありましたが、沢山の手に振っていただき声を掛けて貰いました。

選挙公営

	請求額	公費負担限度額
自動車	0円	15,800円×7日＝116,000円
運転手	62,500円	12,500円×7日＝87,500円
ガソリン	10,480円	7,560円×7日＝52,920円
ポスター	245,160円	1,819円×264枚＝480,216円
はがき	0円	62円×2000枚＝124,000円
選挙ビラ	30,000円	7円51銭×4000枚＝30,040円
合計	348,140円	890,676円

公費負担限度額が890,676円のところ348,140円しか請求しなかったため、差し引き542,536円の税金節約ができました。

※候補者の選挙費用収支報告書は、選挙管理委員会で見ることが可能です。

- 選挙ビラの写真撮影費用2160円。
- 選挙ビラ2種類作成費用49440円のうち自己負担額19440円。
- 雑費（ブルーシート）634円。
- 合計額29794円を獲得した2446票で割ると1票あたり12.18円です。

選挙公営348140円

- 選挙カーは自家用車を使用。
- 運転手費用は自分で運転した2日分相当を差し引いた5日分の62500円を運転手に支払いました。
- ガソリン代10480円。
- ポスター作成費用245160円
- はがきは、後援会がなく出す対象がないため公費負担は0円です。
- 選挙ビラ公費負担分30000円。

※財力によって選挙の公平性が失われることを防ぐために、国や地方公共団体が選挙の費用の一部を負担することを選挙公営といいます。

選挙が変わらなければ政治は変わらない

今回から市議会議員選挙でも選挙ビラを4千枚作成することが可能になりましたが、選挙事務所、演説時、新聞折込以外に配布が認められないため、大変苦勞しました。自己負担をして2種類作成し、一方の片面をぬり絵にしたのも無駄を出さないための工夫でしたが、それも実らず半分近くを配布することができませんでした。ただこのビラは子供たちに大人気で、ありがとうと言って持ち帰ってくれた子供がたくさんいました。そのため子供と保護者の集まる午後の公園での演説を追加したくらいです。もちろん子供たち相手に難しい話をしても仕方ないので、うた中心になります。が、将来を担う子供たちに、政治に関心を持ってもらうきっかけになればと考えています。私の選挙運動はただ単に票を獲得するための手段ではありません。将来に大きな花を咲かせるための種まきだと考えています。多くの皆さんが違和感を持ちながらも、他に方法が見つからないため変わらない選挙スタイル。選挙が変わらない限り政治は変わりません。

若い候補者が立候補しやすい環境を作り今の政治を変えるために、選挙の常識をぶっ壊す挑戦を続けていきます。



きぐるみ日記

検索

活動をブログで紹介しています。



深谷市議会議員

ミルクおやじレポート

全国初の公共施設マイナス入札は適正だったのか。

マイナス入札として全国的に注目された旧中瀬小学校体育館ですが、3月議会において、これを承認する議案が賛成多数で可決されました。その結果、市は落札者に約1500㎡の宅地と現金795万円を提供することになりました。広報ふかや2月号でこの795万円は回収できると市は説明していますが、実際には不可能なので、この議案に反対しました。あらゆることを試し、最終手段としてのマイナス入札なら仕方ありませんが、市はその努力を怠ったので賛成することはできません。

3月議会の一般質問



Q 市は最低落札価格を1782万1千円に設定し行った平成27年と平成29年の2回の入札が不調に終わった事を理由に、体育館を取り壊し、住宅を建てることを条件に、マイナス価格の入札を行った。最低落札価格を引き下げた通常の入札を行う考えは無かったのか。

A 2回の入札不調で活用型のニーズはないと判断した。

なぜ2度目の入札で価格を下げ、落札しやすくしなかったのか。入札が行われたことをほとんどの市民が知らなかったことも問題です。

Q 広報ふかやに掲載された、売却後に想定される税収見込み1730万円は、深谷市民が住宅を建築しても市民税の増収が見込めないためあり得ない数字だ。不適切な表記を行政が行うべきではないと思うが。

A 税収増がどの位あるかマスコミから求められたため、あくまで一つの例として掲載しただけなので全く問題ないと言える。

市は広報誌に具体的な数字を掲載するなら、その数字に対して責任を持つべきです。最低落札価格を1782万1千円に設定して入札を2回行ったことに全く触れていないことも問題です。

Q 川本総合支所の敷地については安全性を理由に公民館の建設は違う場所にするべきとしている。ハザードマップで同じ基準の旧中瀬小学校体育館敷地については住宅建設を条件にしている。矛盾はないか。

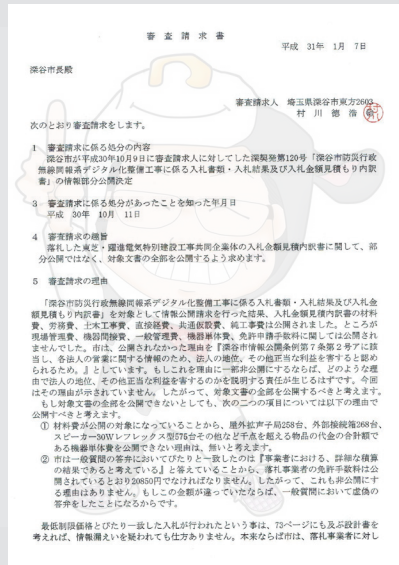
A 未利用資産の活用と公共施設の整備は視点が同じではない。新川本公民館の建設が第3の候補地に決まった場合、市は総合支所の跡地を住宅地として売却しないつもりでしょうか。それとも安全性を理由に公民館建設を認めなかった跡地に住宅を建設しても問題ないと考えているのでしょうか。いずれにしても私には深谷市の判断基準が全く理解できません。

反対討論

私は以上のような理由から反対討論を行いました。そこでも触れた話ですが、体育館をテレビや映画のロケセットとして活用したいという具体的な提案がありました。マイナス入札を行う事が決定し、広くメディアで取り上げられた後の提案だったため、実現できませんでしたが、市に売却益が入る上にテレビや映画のロケ地として深谷市北部の活性化につながる可能性を秘めた話だったので非常に残念です。これだけ時間をかけて、なぜこんな結論しか出せなかったのか、疑問が残ります。最初から結論ありきの話だったように思えて仕方ありません。

不服申し立てに 対する経過報告

「深谷市防災行政無線同報系デジタル化整備工事に係る入札書類・入札結果及び入札金額見積もり内訳書」の情報部分公開決定に対し、1月7日に提出した不服申し立て（審査請求）のその後の経過を報告します。



① 3月12日 小島市長より2月22日に情報公開審査会に諮問をしたという旨の情報公開審査会諮問通知書が届きました。

② 3月25日 弁明書の写しと意見書の提出について（通知）が届きました。

弁明書は小島市長が深谷市情報公開審査会に対し、深谷市の情報部分公開は妥当であるとの答申を求めたもので、部分公開の決定理由とその正当性について書かれていました。

③ 5月7日 弁明書の内容には全く納得できないので情報公開審査会あてに意見書を提出しました。

また審査会委員に対し口頭で意見を述べる機会を求めることができるため希望した結果、6月7日開催予定の情報公開審査会で委員に対し直接意見を述べる事が認められました。

深谷市情報公開審査会が私の不服申し立てに対しどのような判断を下すか、後程詳しくお伝えする予定です。

あとがき

深谷市議会の会派『彩新クラブ』で活動を共にしていた田島信吉氏が、残念ながら先の市議会議員選挙で落選してしまいました。そのため彩新クラブは継続不可能になり、私は無会派（どの会派にも所属しない）の道を選択することにしました。会派拘束に縛られることなく、是非々に徹し、政務活動費の全てをミルクおやじレポート作成の費用に充てたい。これが無会派を選択した理由です。数があるものをいう政治の世界では、会派に所属した方がいいという声もありますが、考え方の違う人と無理して組んだ会派は、議長選挙を有利に進めるための手段にしかありません。そもそも私にとって議長・副議長職は、一般質問ができない上に、ミルクおやじの活動に差し支えがあるので、全く興味がありません。

委員会は希望が通り、総務委員会に所属することになりました。今、私が一番関心を持っている入札と情報公開を所管する委員会の委員になる事ができて本当に良かったと思っています。せっかく総務委員会の委員になったのですから、委員会の視察では、官製談話が発覚した、大阪市、周南市、長岡市などへ行つて関係者に直接話を聞きたいと思っています。他の委員の賛同が必要ですが・・・情報発信を続けてきた結果、元市役所の職員やフリーのライターなど様々な人と知り合いになりました。こうした人間関係を活かし、新しいことに挑戦していきたいと思っています。

詳しい活動内容を知りたい方は、『きぐるみ日記』をご覧ください！

